

## 講演会

未知なる時空間の芸術的変容

カール・フリードリヒ・シンケルの紀行文

**Karl Friedrich Schinkels Reiseberichte**

**Die künstlerische Anverwandlung fremder Zeiten und Räume**

19世紀前半ベルリンの代表的な新古典主義の建築を設計したドイツの建築家カール・フリードリヒ・シンケルは、オペラなどの舞台美術も多く手がけました。そのいくつかは、シンケルが旅先のイタリアで見聞した風景や人々の様子をまとめた紀行文やスケッチなどを参考にしたと言われています。この異文化体験は、シンケルが手掛けた舞台美術にどのように変容され、彼自身の芸術作品に反映されたのでしょうか。本講演では、シンケルの専門家でライプツィヒ大学講師のアンドレア・ヘンゼル氏をお招きし、異文化の体験と芸術創造との関係を探ります。

## 記

講演者：アンドレア・ヘンゼル氏（ライプツィヒ大学演劇学研究所講師）

日時：2017年6月8日（木）10:30—12:00

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 南館5階ディスカッションルーム

司会：平田栄一郎（慶應義塾大学文学部教授）

主催：科研プロジェクト「越境文化演劇研究——異他の視点からの演劇文化論」

\*講演はドイツ語で行われます。

\*予約不要

連作先：hirata@flet.keio.ac.jp（平田栄一郎）